

ONLY 1

オンリーワン企業紹介

日本唯一を目指して
純国産、
東光レスキュードローン

東光鉄工株式会社

「社会貢献」「社会インフラ貢献」を目標に掲げ、「防災・減災対策ドローン」の製品化に成功。秋田発、国内初の純国産レスキュードローンとして活躍が期待される。



全天候型のドローン開発!

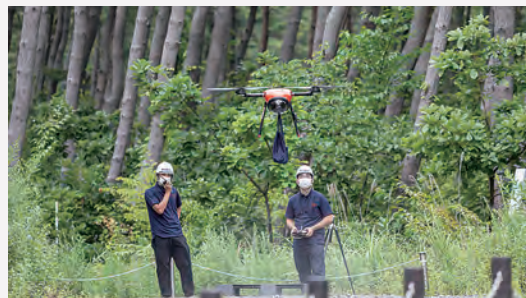
1938年の創業以来、建築、土木、プラント、機械分野に加え、南極昭和基地でも活躍するTOKOドームや、防災シェルター、洋上風力発電、ドローン事業と次々と新分野・異業種への参入を行っている東光鉄工株式会社。「ものづくりのプロ集団」と呼ぶにふさわしい同社が、全天候型のドローン「東光レスキュードローン®」を新開発し、8月3日、潟上市天王の海岸沿いでデモンストレーションフライトを披露した。

同社では、まだ国内でドローンが一般的に知られていなかった頃から海外の動向を注視しながら準備を進め、2015年にUAV事業部を立ち上げ本格的にドローン事業をスタート。2017年から、秋田県ものづくり中核企業成長戦略推進事業として、災害時やレスキュー活動等に活用可能な「多目的防水ドローン」の開発に取り組み、3年間の開発期間を経て製品化に成功した。

「様々な機能を持つドローンが製品化されていますが、悪天候の中でフライトできるドローンはなかなかありません。東光レスキュードローンは、近年増加・拡大傾向にある自然災害や、遭難事故等の過酷な状況下においても機能を最大限に発揮できる、国内初の純国産レスキュードローンです」とUAV事業部長の中島孝広さんは語る。

安心と安全をドローンで支えたい

防塵防水性・耐風性の追求と、防災や災害現場等への活用に必要な機能を付加するため、同社で積み重ねてきた技術と経験を駆使して課題をひとつひとつ解決した。機体は「純国産」にこだわった。



「当初は海外の技術を応用していましたが、より“安全”と“安心”にこだわり、途中で大きく方向転換を行いました。ハード面はもちろん、機体の姿勢や速度などを制御するソフト面、ドローンの『脳』ともいえるフライトコントローラーも“国産”です」。

今後も、目視外飛行(有事の際のみ認められる、目視による常時監視ができない状態での飛行)の自動飛行の精度向上や、あらゆるミッションの100%達成を目指して開発は続く。

「最新の技術を搭載したドローンの開発に終わりはありません。ドローンが世の中に必要なインフラとして認められるよう、研究を続けていきたいと思っています」。



執行役員 UAV事業部長
中島 孝広
Takahiro Nakajima

東光鉄工株式会社

〒017-0012
秋田県大館市釈迦内稲荷山下19-1
TEL. 0186-48-3234
FAX. 0186-48-5922
<http://www.toko-akita.co.jp/>

会社概要

各種鋼構造物の設計製作、各種機械装置・プレス金型の設計製作、施工・据付、保守メンテナンス、加工、ドローンの設計製作・販売・教習

